

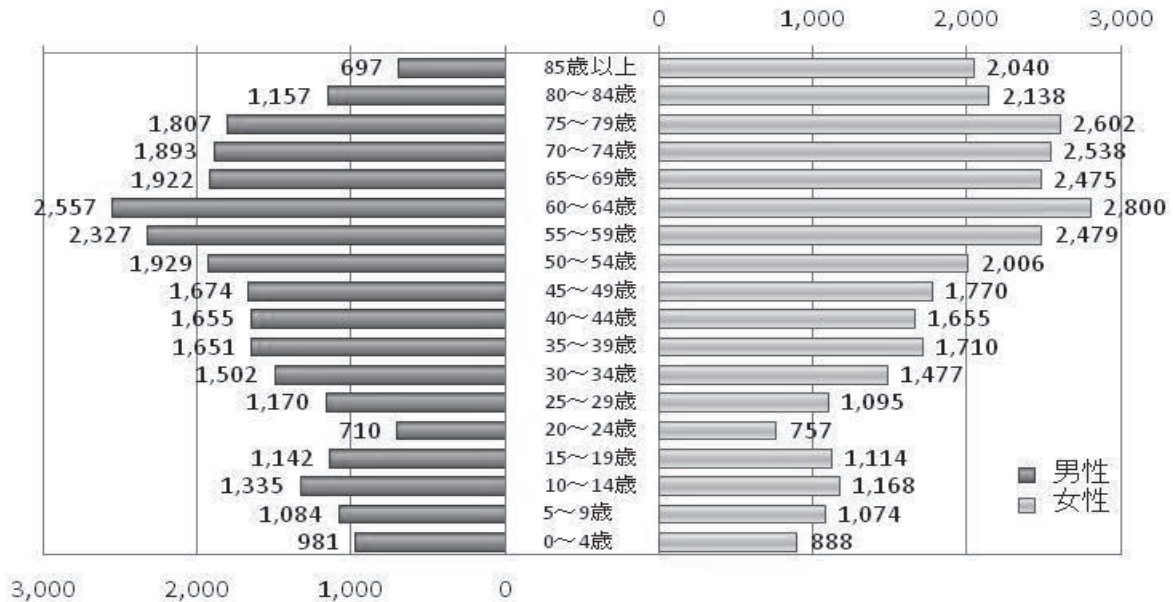
Ⅱ 市民の健康の現状と課題

(「のしろ健康21計画」の23年度データによる最終評価及び24年度「市民健康意識調査」結果他)

1. 人口動態

(1) 人口構成

- 平成22年の65歳以上人口割合は32.6%で、全国1位の秋田県割合29.6%を上回る。(22年国勢調査結果)



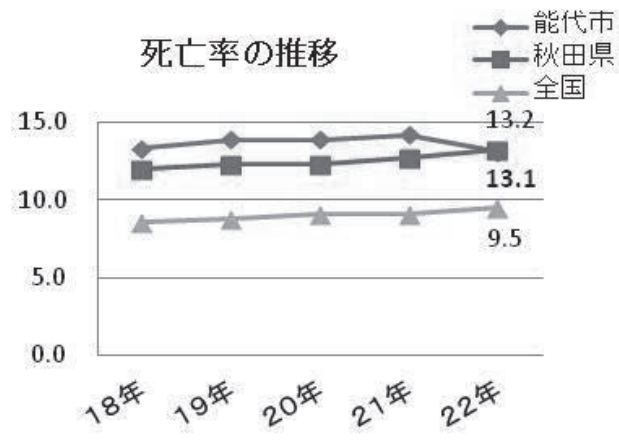
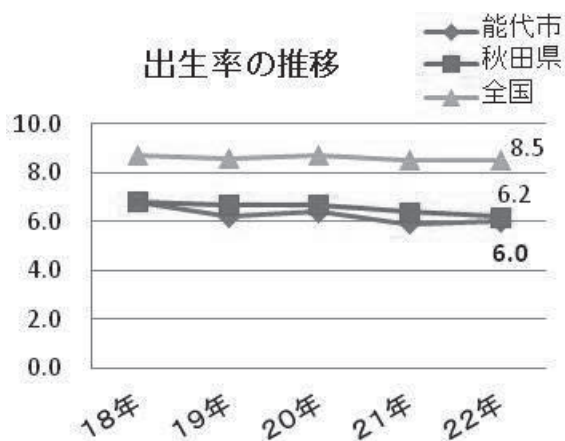
人口構成

(平成22年国勢調査結果)

	男性	女性	総人口	能代割合	秋田県割合
0～14歳	3,400	3,130	6,530	11.1%	11.4%
15～64歳	16,317	16,863	33,180	56.1%	58.9%
65歳以上	7,476	11,793	19,269	32.6%	29.6%
年齢不詳	86	19	105	0.2%	0.1%
総人口	27,279	31,805	59,084	100.0%	100.0%

(2) 出生・死亡

- 平成22年の出生率は人口千人対6.0で、全国47位の秋田県出生率を0.2下回り、死亡率は13.1で、全国1位の秋田県死亡率を0.1下回る。(衛生統計年鑑)



(3) 平均寿命

●平成17年の県内順位は、男性女性とも17位。

平成17年平均寿命(完全生命表)

注) 合併前の旧能代市データ

	男性	女性	男性順位	女性順位
全国	78.79	85.75		
秋田県	77.44	85.19	全国46位	全国45位
秋田市	78.5	85.6	県1位	県4位
能代市	76.8	84.7	県17位	県17位

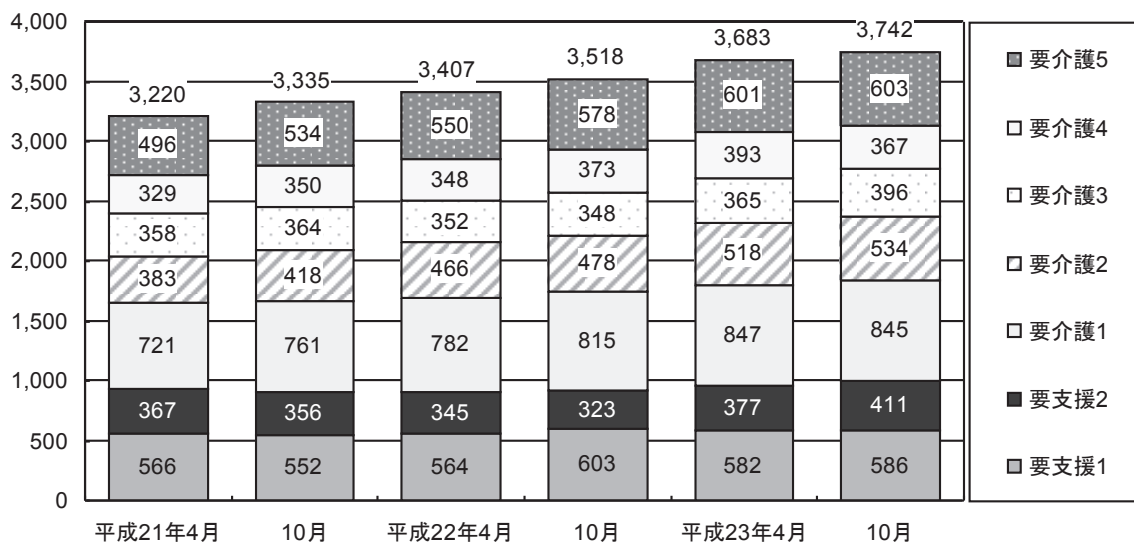
平成22年健康寿命

	男性	女性	男性順位	女性順位
全国	70.42	73.62		
秋田県	70.46	73.99	全国23位	全国18位

(4) 要介護認定者

●要支援・要介護者は、年々増加傾向にある。

(人)



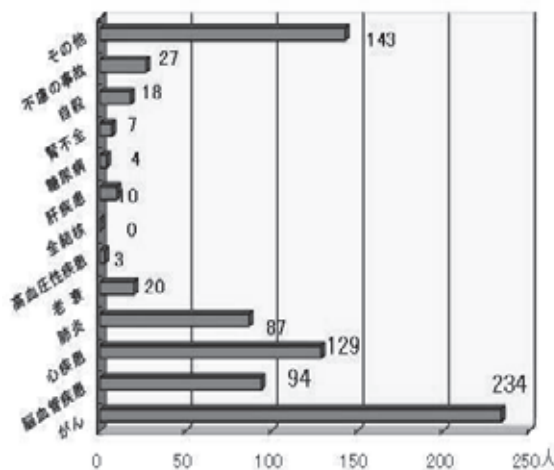
(高齢者福祉計画)

2. 主な疾病状況

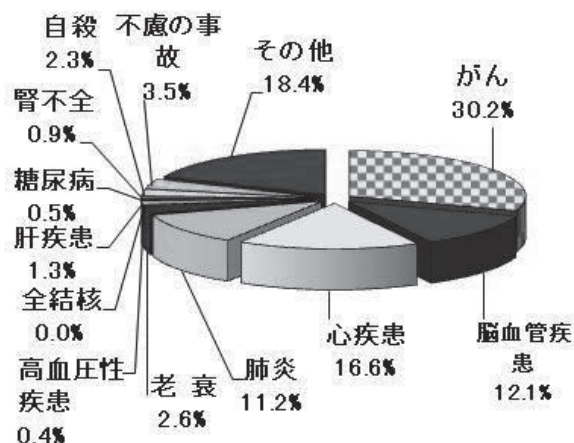
●三大死因死亡率

・悪性新生物(がん)・脳血管疾患・心疾患による死亡者は、合計で全死亡の約6割。
(衛生統計年鑑)

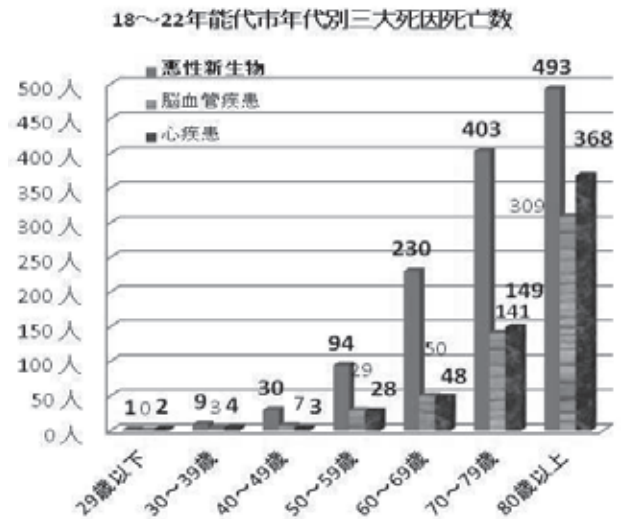
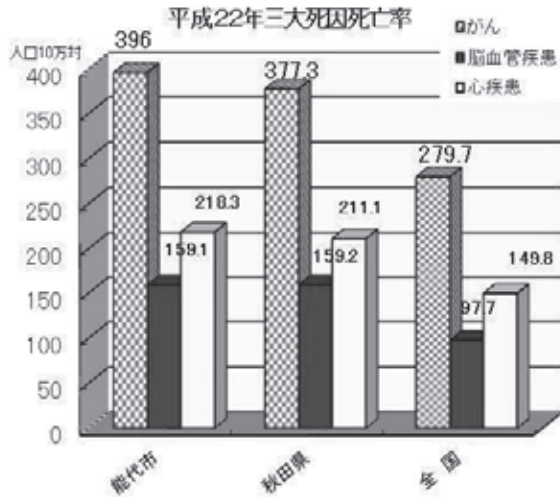
22年能代市特定死因別死亡者状況



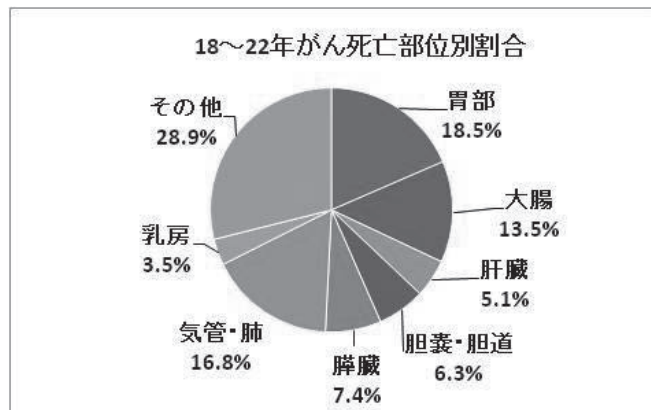
平成22年能代市特定死因別死亡割合



- ・平成22年悪性新生物（がん）死亡率は、全国で最も高い秋田県平均を上回る。
- ・悪性新生物（がん）死亡者は、50歳代から増加傾向。



- ・悪性新生物（がん）の主な部位別死亡は、胃、気管・肺、大腸の順となっている。



3. 生活習慣状況

(1) 栄養/食生活

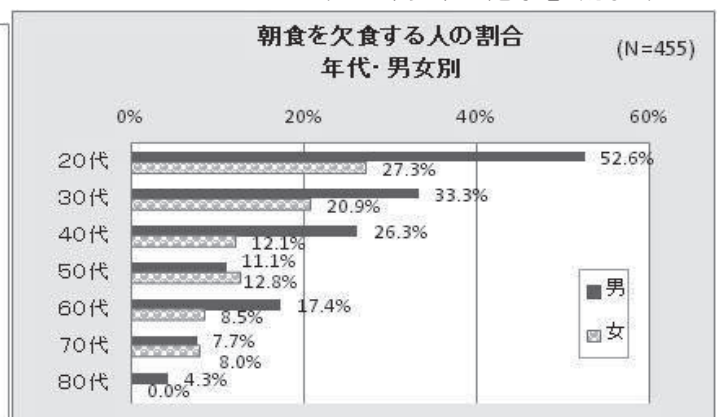
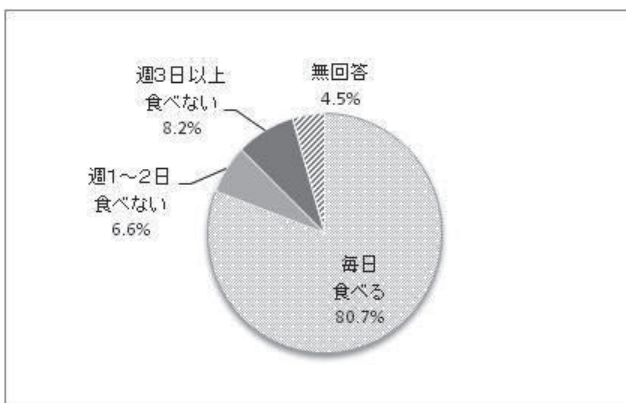
●適正体重の維持

- ・20～60歳代男性の肥満者割合が32.8%で、20年度の30.8%からやや増加。
(23年度健診受診者)

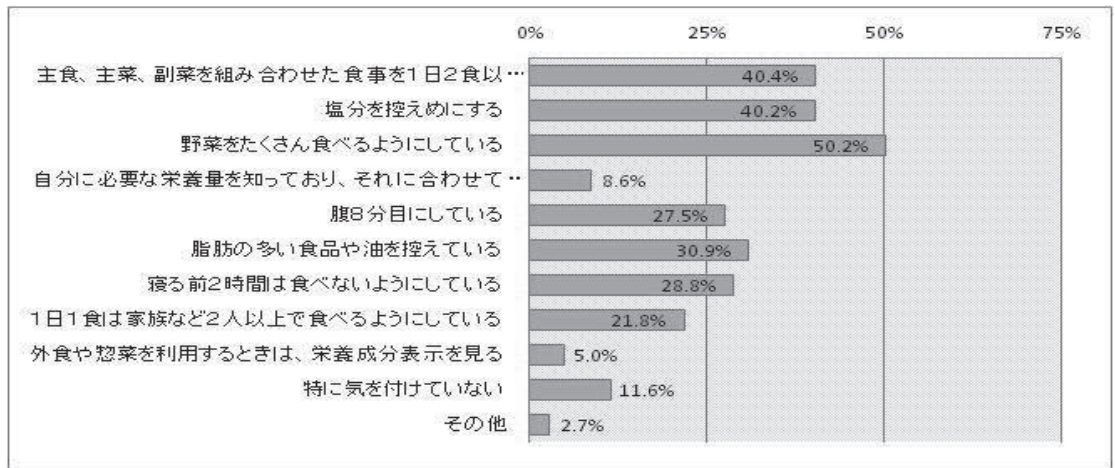
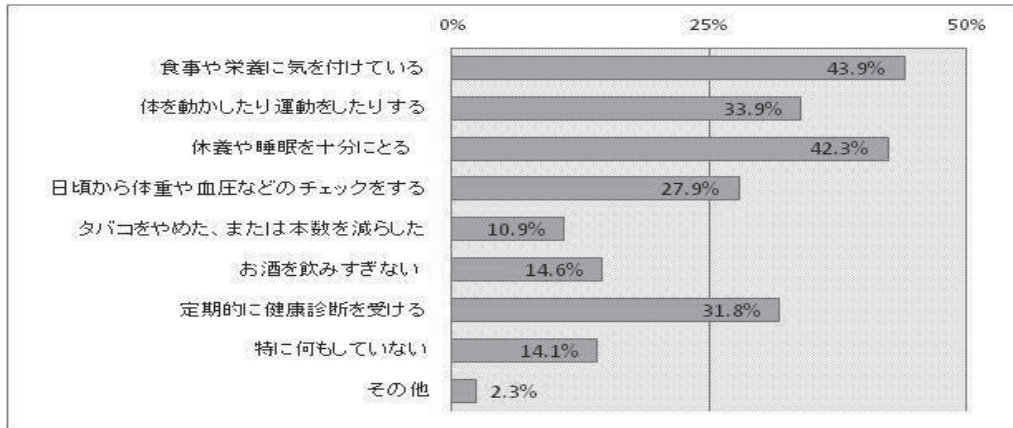
●適切な量と質の食事

- ・小皿3皿以上野菜を摂取する者の割合は11.2%で、20年度の13.1%からやや減少。
(23年度健診受診者)
- ・朝食欠食者割合は14.8%で、男性は20代52.6%、30代33.3%と多い。
(24年度市民健康意識調査)

朝食を欠食する人の割合



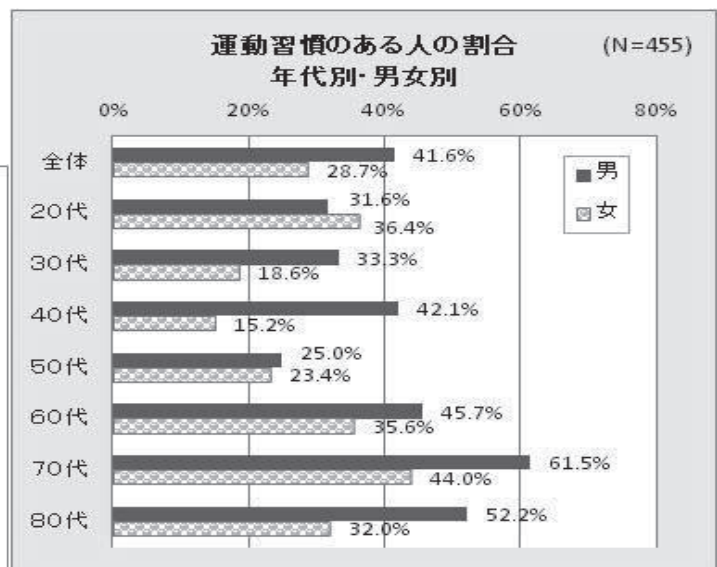
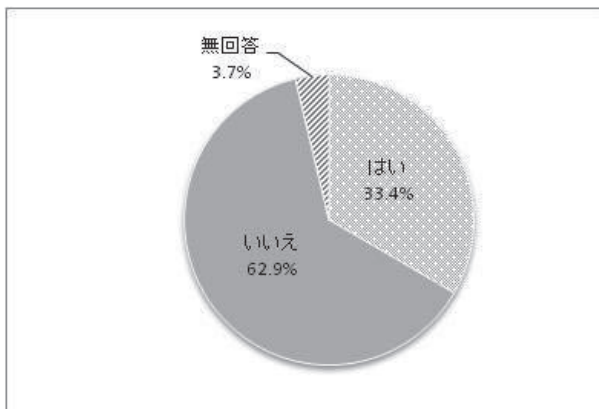
- 食事や栄養に気を付けている者の割合は 43.9%。
このなかで野菜をたくさん食べるようにしている割合は 50.2%、塩分控えめの割合は 40.2%と比較的多い反面、「必要な栄養量を知っている者」は 8.6%、「栄養成分表示を見る者」は 5.0%と少ない。（24 年度市民健康意識調査）



(2) 運動/身体活動

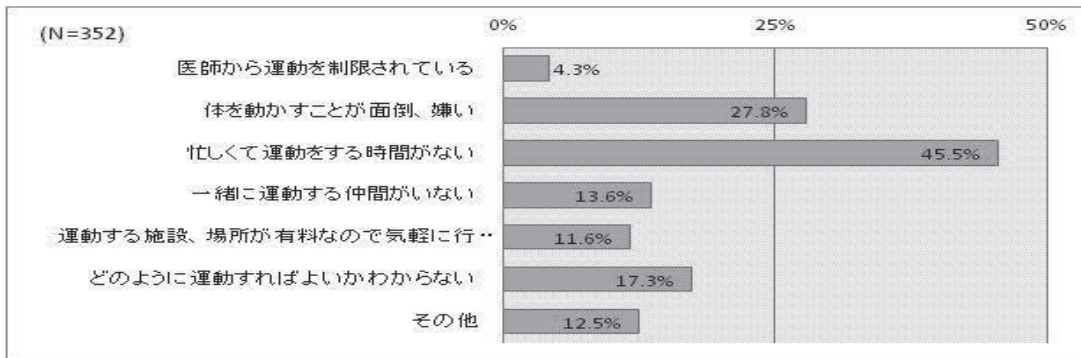
●運動習慣

- 運動習慣がある者は 33.4%で、女性では 30代 18.6%、40代 15.2%と少ない。（24 年度市民健康意識調査）



- 運動習慣のない者は、「忙しくて運動する時間がない」割合が 45.5%で最も多く、「どのような運動をすればよいかわからない」割合は 17.3%。

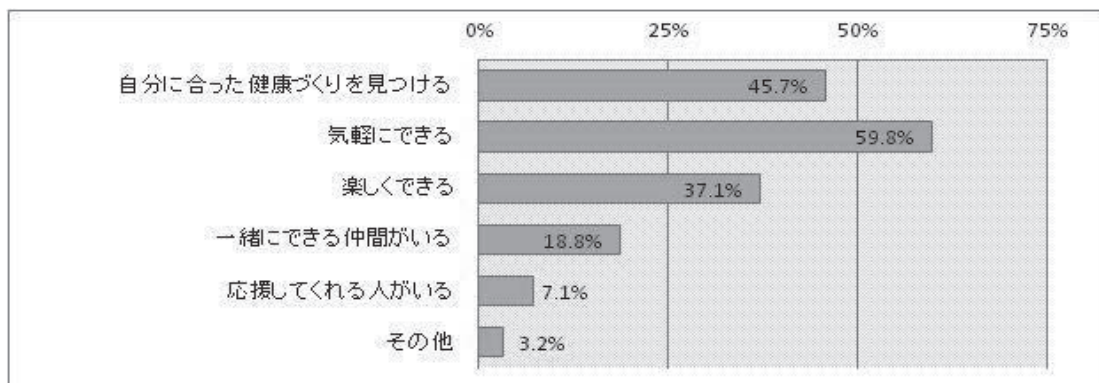
(24 年度市民健康意識調査)



●健康づくりの実践行動化

- 実践してみようと思う条件としては、「気軽にできる」が 59.8%と最も多く、次いで「自分に合った健康づくりを見つける」45.7%、「楽しくできる」37.1%。

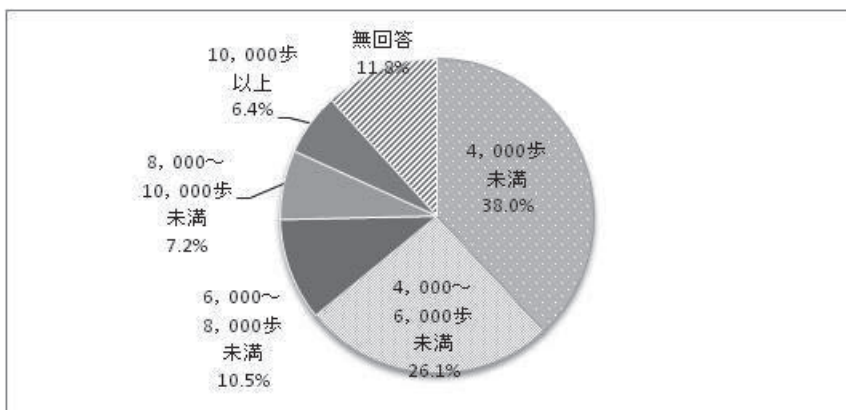
(24 年度市民健康意識調査)



●日常生活歩数

- 健診受診者では、日常生活歩数 8000 歩以上が男性 52.1%、女性 50.2%となっているが、意識調査結果では、1 日 8000 歩以上歩く者の割合は 13.6%。

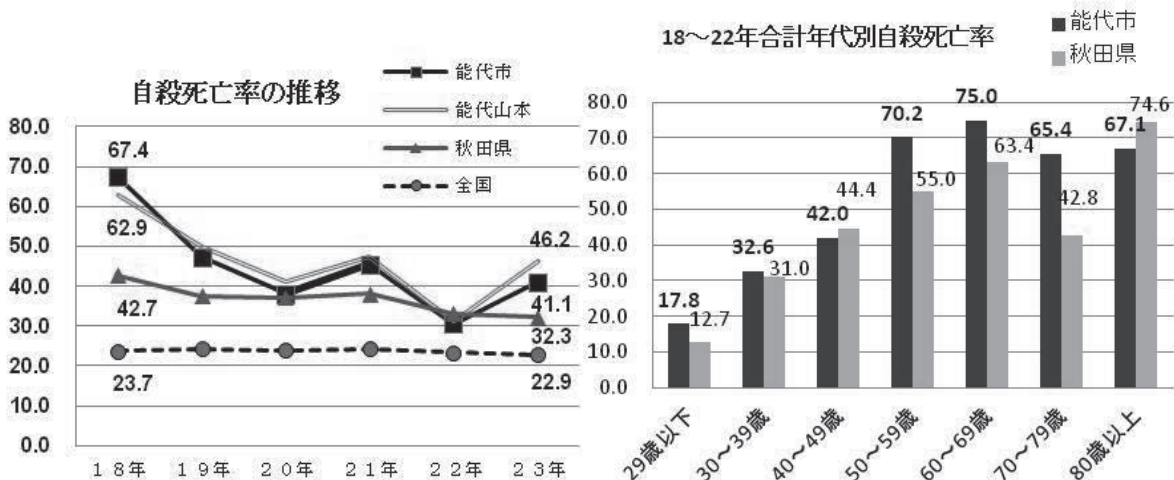
(23 年度健診受診者) (24 年度市民健康意識調査)



(3) 休養/心の健康

●自殺死亡率

- ・自殺死亡率は22年30.5、23年41.4となっており、年代別では県平均と比較して50歳60歳代が多い傾向にある。(衛生統計年鑑)



●心の健康維持

- ・8.9%が、睡眠による休養が十分にとれていないと回答。

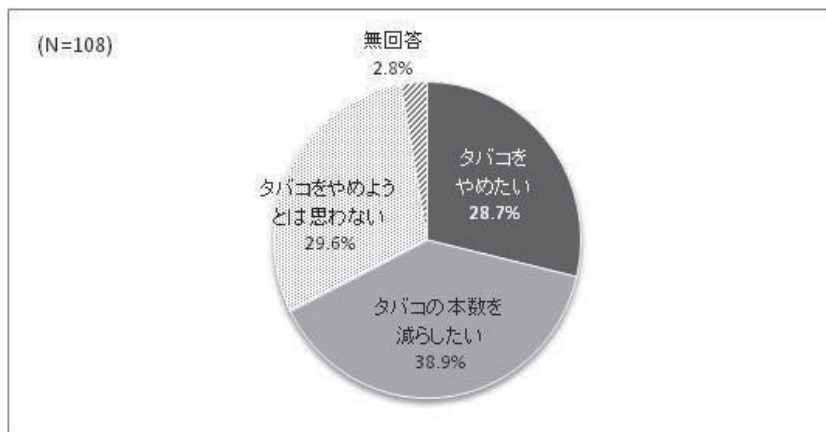
(24年度市民健康意識調査)

(4) たばこ

●喫煙率

- ・喫煙率は19.3%で、男性が30.5%、女性が11.3%となっており、喫煙者の67.6%が「やめたい」「減らしたい」と回答。

(24年度市民健康意識調査)



(5) お酒

●多量飲酒者

- ・毎日飲酒する者の割合は男性43.2%、女性11.3%で、飲酒する者のうち1日3合以上の多量飲酒者割合は、男性7.9%、女性2.9%となっている。
- 22年死因では肝がん12人、肝疾患10人となっている。

(24年度市民健康意識調査)(衛生統計年鑑)

(6) 歯/口腔の健康

●年少期のむし歯

- ・3歳児のむし歯のない者の割合は70.7%で、目標の80%に届いていない。

(23年度健診受診者)

- ・12歳児の一人平均むし歯数は22年1.75本で、目標の1本未満に届いていない。

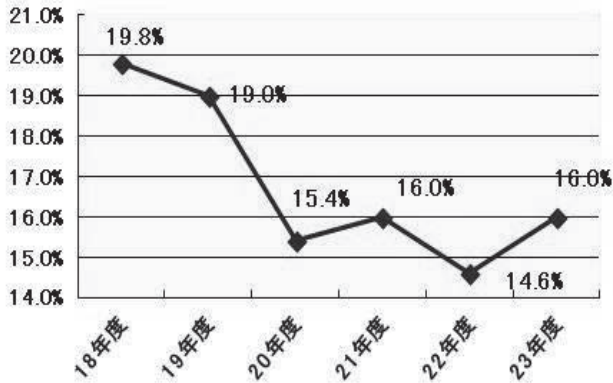
(県むし歯に関する資料集)

3. 疾病の早期発見/早期治療

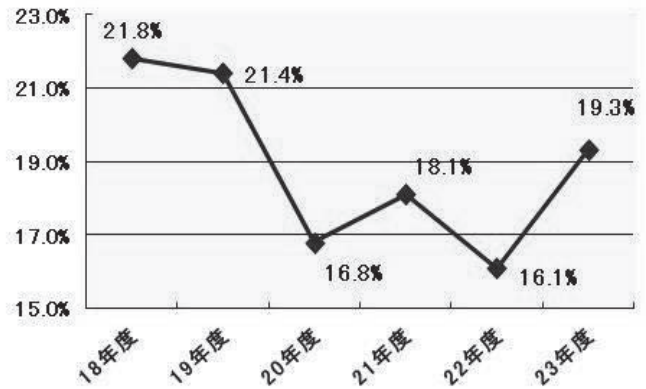
●健（検）診受診率

- ・特定健診 26.1%、がん検診は胃 16.0%、大腸 19.3%、肺 23.2%、乳房 32.3% 子宮 24.4%で改善傾向にあるが、目標 50%には届いていない。(23年度健診受診者)
- ・健康のために行っていることでは、「食事/栄養」43.9%「休養/睡眠」42.3% 「運動」33.9%に次いで「定期健診」31.8%となっているが、「定期健診」は、は20~30代女性が14.5%と少なく、比較的多い60代以上でも男性37.9%、女性32.1%。(23年度健診受診者) (24年度市民健康意識調査)

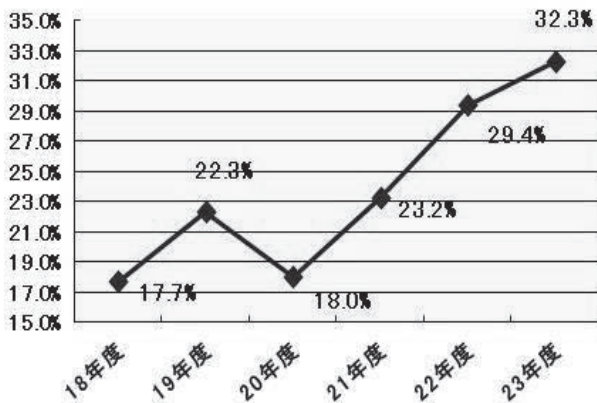
胃がん検診受診率の推移



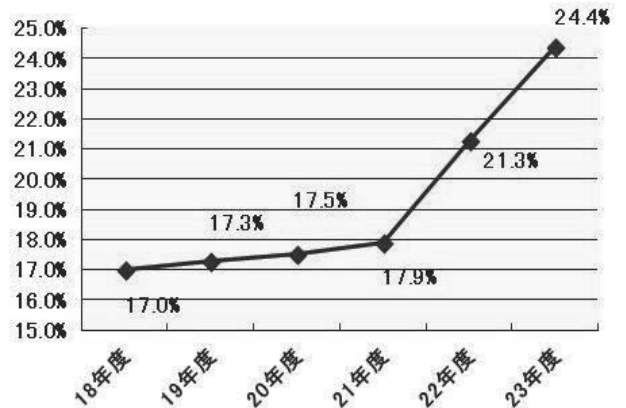
大腸がん検診受診率の推移



乳がん検診受診率



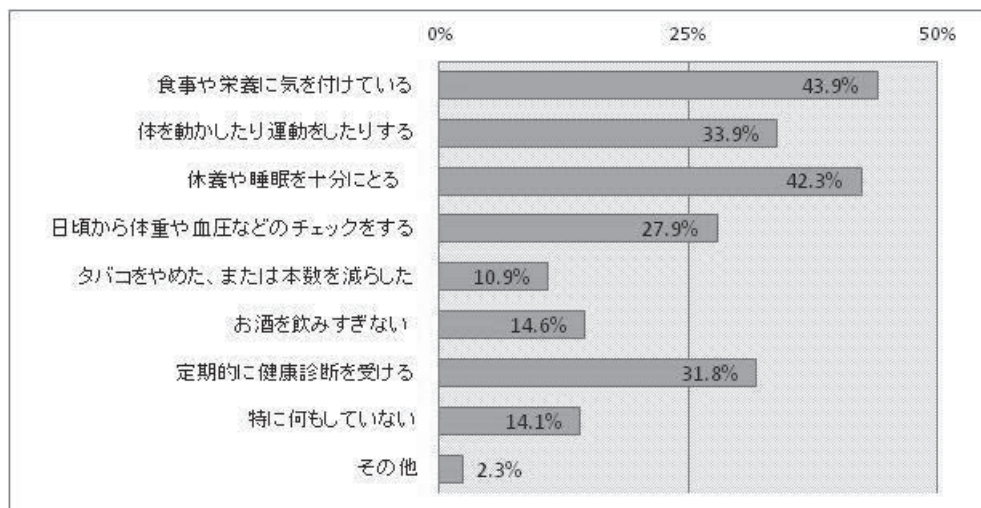
子宮がん検診受診率の推移



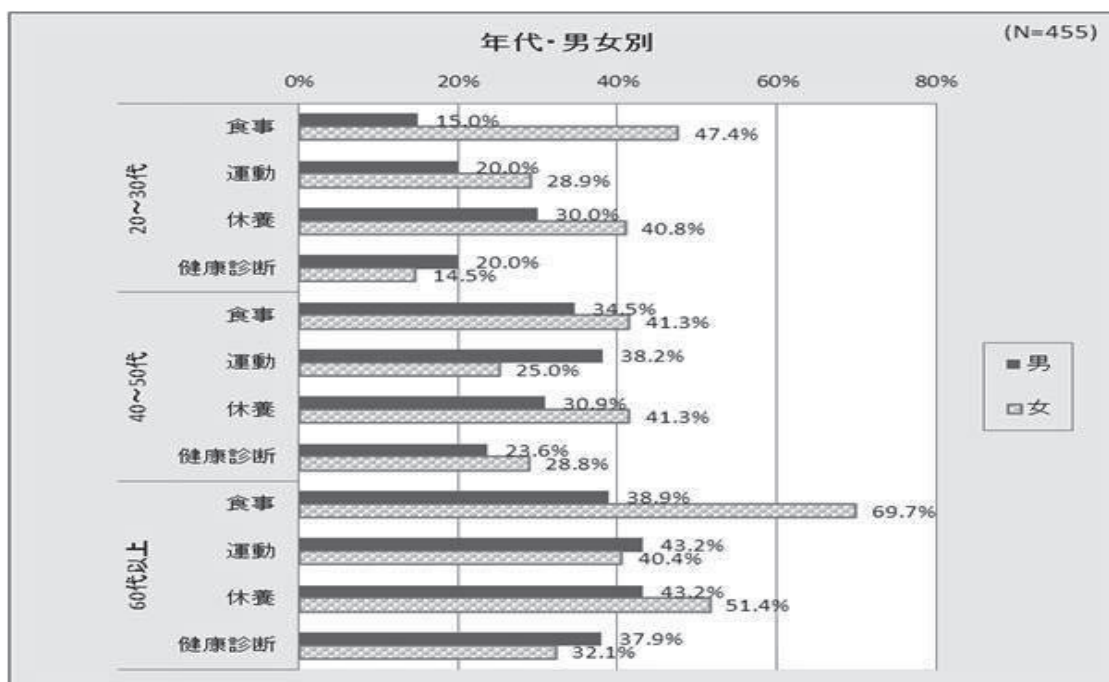
肺がん検診の推移



健康のために行っていること



健康のために行っていること（年代・男女別）



●生活習慣病の危険因子

- 高脂血症者男性 12.5%、女性 15.1%、高血圧者男性 36.0%、女性 26.7%
と生活習慣病予備群者が微増傾向。(23年度健診受診者)